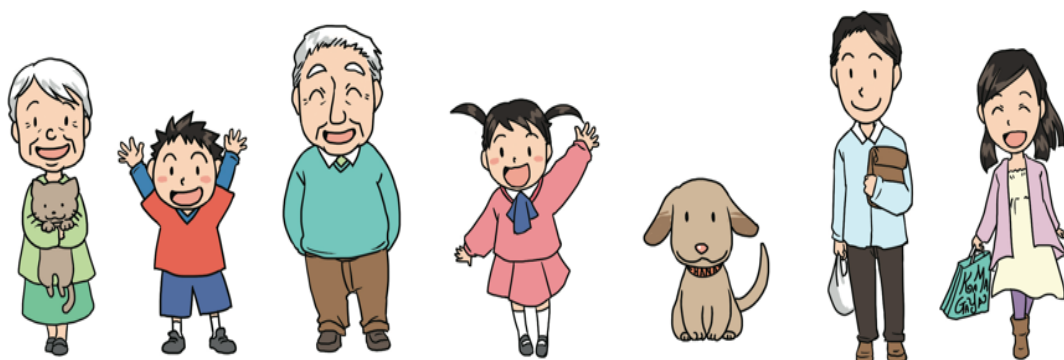


福島町定住促進・少子化対策プロジェクト

# 福島町まちづくり合同会議

(平成24年度第3回)



と き：9月26日（水）午後6時～

ところ：福祉センター 音楽室

総務課企画グループ

# 会 議 次 第

1. 事務局あいさつ
2. 第2回合同会議結果の確認について
3. 第3回町民フォーラムでの検討結果について
4. グループ討議
5. その他（今後の予定）

## 平成24年度 第3回福島町まちづくり合同会議

**【若者定住促進及び少子化対策に関する課題】****1. 若者定住促進の課題**

## ア 雇用・就労の場づくり

本町は、人口減少が進み、まちの魅力も輝きを失いつつあります。雇用環境が不十分で、町内には若者や子育て中の女性等が希望する職場、職種も少なく、町外に安定した職を求めて転出しています。町外からの若者等の転入者も期待しにくい状況にあります。

このため、若者や子育て中の女性等の雇用・就労の場の確保に向けて、企業誘致や若者等の起業家育成、起業に向けた環境づくり（地場資源を活用した新たな産業・産品づくり等）の推進による、新たな職場づくりが課題となっています。

## イ 独自性のある生活の魅力の向上

雇用・就労の場づくりと共に、若い男女が出会える場や機会づくりも当面の課題です。

若者は町内で、勉学に励むとともに、生活の楽しさや豊かさを実感できるカフェやファーストフード等の手軽な飲食の場や、安定した職を持ちカラオケ等の娯楽や遊び、スポーツやイベントなど多様な機会を通じて異性との出会い、語らいや交流を楽しめる場などの魅力も必要と考えています。

また、雇用・就労の場の確保と同時に、単身者や若者世帯の定住促進に向けた住宅の確保の課題となっています。

日常の生活環境の充実、若者が憩い集える居場所など、「学び」、「遊び」、「働く」の連環した生活環境充実のため、生活者向けサービスの集積が課題です。

**2. 少子化対策の課題**

本町では、年々出生数が減少し少子化が進むとともに、子どもを安心して産み育てる環境も不十分になってきています。子育てサポートの充実や小児科、産婦人科等の専門医療や緊急時等の不安解消に向けた仕組みづくりが課題となっています。

子どもの減少と同時に、子ども達が安心して遊ぶ場も減少しています。子どもを中心に親子で気軽に集い遊び学べる場、乳幼児の保育環境（一時保育や一時預かり、延長保育等）の充実により、子どもがいても共働きできる環境づくりも課題です。

**【第3回町民フォーラムでの検討課題】****IV 住環境の整備**

## 1. 住環境の整備

- ①若者定住住宅の整備
- ②コミュニティバス等の検討
- ③インターネット環境の高度化
- ④福島町情報バンクの設置
- ⑤街の環境美化

## 2. 医療環境の整備

- ①専門医療機関への通院支援等
- ②緊急輸送手段の構築

**V 地域の資源を活かした機能分担**

1. 福島地区の活性化
2. 吉岡地区の活性化

**目指すべき方向****IV 住環境の整備**

## 1. 住環境の整備

単身者や若者世帯の住宅が不足しており、他町から若者が移住したくとも、住宅がないという意見があります。他方町内には、100件近くの空き家があるとも言われます。これら空き家や耕作放棄地の所有者の協力を得て利活用を可能にすることで町の景観が向上し魅力も高まります。

あわせて、交通利便性強化、IT環境（情報通信網）等のインフラ整備を進めることにより、若者定住につながるものと期待されます。

## 2. 医療環境の整備

女性が安心して身近に相談できる産婦人科、小児科など夜間や緊急に対応できる体制づくりを進めることが、本町で安心して子どもを産み育てるためのスタートになります。

また、地域住民が乳幼児保育、学童クラブ等の子育て支援施設の運営に参加することで、出産をひかえる女性等、誰でも気軽に利用を可能にし、小児医療等への不安を和らげ、少子化対策として効果的と期待されます。

**V 地域の資源を活かした機能分担**

定住促進及び少子化対策の推進には、雇用・就労の機会や交流機会の拡大、創出を図り、物や情報を産みだす環境の整備など、町内の公有遊休施設（地）の利活用や、稼働率の低い施設の多機能化などと、民間に協力をもて民間施設等、地区において潜在化している資源を顕在化させる必要があります。

そこで、福島地区、吉岡地区の役割分担を明確化したうえで、地区間の連携強化により町の活力を高めていくことが必要です。

## 1. 福島地区の活性化

商業・公共・公益ゾーンとして市街地の面的整備を進める。

## 2. 吉岡地区の活性化

元気な福島町を支える人づくりの環境整備を進める。

#### IV 住環境の整備

##### 【課題：1. 住環境の整備】

個別テーマ	①若者定住住宅の整備		②コミュニティバス等の検討	
内 容	若者世帯や若者が一人暮らしのできる住宅の確保・提供方法の検討を進める。 (単身者向けマンション、世帯向けマンション整備等)		バス等の交通利便性の向上と多様な運行を可能とするコミュニティバス等の運行を検討する。	
グループ	1. 2グループ	3. 4グループ	1. 2グループ	3. 4グループ
取り組み (案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者世帯向けに空き家をリフォームし、賃貸する。なお、リフォームに当たっては町が補助金を用意する。</li> <li>町が空き家の買い上げや、所有者から賃借して、リノベーションし単身の若者向けに、短期的な町営のシェアハウスとして賃貸する仕組みを作る。(町外からの若者に3ヶ月程度)</li> <li>町営住宅の改築工事あわせて単身若者向けの棟を建てる。</li> <li>所有者の協力を得て町ホームページに、空き屋、空き室情報を載せる。</li> <li>民間でアパートを建てられるように土地を安くしたり管理会社(指定管理者)をつくる。</li> <li>空き家情報の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフォームが出来る空き家を提供する。</li> <li>交流施設(ルームシェア等)ができる施設をつくる</li> <li>建設業者に住居を建設してもらう。(助成が必要なら行う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9/3 からデマンドバスの利用実験が開始されたため、動向を見守る。</li> <li>公共路線バス(松前～函館：国道)に関する情報提供を充実させる。(バス停の場所、時刻表、料金表等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デマンドバス試験運行の状況により必要の有無を判断する。</li> <li>バスを利用する人や街の景観をも盛るため、バス停の駐輪場の整備を進める。</li> <li>デマンドバスの親しみやすくする。(ペイントを行う するめ～【マスコットキャラクター】)</li> </ul>
重要度 緊急度	重要度：高 緊急度：高	重要度：高 緊急度：高	重要度：低 緊急度：低	重要度：高 緊急度：高
住民・事業者の 役割		町、建設業者、建設協会、住民の連携		町 交通運行業者
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家、空き施設、空地等は町の景観を損なうとともに、防犯・防災上の問題が増加します。若者の定住対策に空き家を活用するためには、何から取り掛かりますか。</li> <li>民間アパートの建設は現実的ですか？(土地を安価で提供するのとはどのような方法？また管理会社(指定管理者)とはどのような仕組みにするか検討してください。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>町民の立場から、スクールバス、温泉バス、オンデマンドバス等の混合乗車を検討する余地はないのですか。(個別目的に合わせた移動手段は必要ではあるが、個別対応は効果と効率が対立することが多い。)また、高齢者や子どもなど自動車を持たない人に対する支援策はどうしますか？</li> <li>公共路線バスと町内移動手段の確保との連動方法を検討してください。</li> </ul>	

#### IV 住環境の整備

##### 【課題：1. 住環境の整備】

個別テーマ	③インターネット環境の高度化		④福島町情報バンクの設置	
内容	インターネットや携帯電話の急速な普及と機能の高度化は生活の利便性や産業の生産性を著しく飛躍させるとともに、情報通信基盤の整備状況によっては地域間格差が広がることから、光ケーブル等インターネット環境の向上に努める。		就職・求人情報、空き家情報等の一元化を図り、多様化する町民ニーズ（働く、学ぶ、住まう、食べる、寝る、遊ぶ等）に直結する第一次的情報の受発信の一元化を進める。	
グループ	1. 2グループ	3. 4グループ	1. 2グループ	3. 4グループ
取り組み (案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光ファイバー、公共の場でのフリースポットの解放(Wi-Fi、Xi等)</li> <li>・ビデオオンデマンド</li> <li>・医療分野での活用 (遠隔地医療が受けられるよう)</li> <li>・町内の各施設を繋ぐ独自のLAN</li> <li>・まずは、ニーズの掘り起こしのためIT教室を開く</li> <li>・IT企業の誘致</li> <li>・老人の孤独死を防ぐための見守りサービス</li> <li>・光にこだわらず、他のものも考えつつ、インターネット環境を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットが便利だという勉強会を開催する。(継続的に何回も行い、普及を行う)</li> <li>・ネットを介したお祭りの開催 (例：長万部町で行ったニコニコ動画祭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コワーキングスペースを作る (人と人、人と情報のつながる場)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人情報、空き家情報をメールで配信する。(メールマガジンみたいに)</li> <li>・町民が情報を上手く利用できていないので、その対策として、若い人が潤滑油のように情報を上手く利用できるような仕組み作りを行う。</li> </ul>
重要度 緊急度	重要度：高 緊急度：高	重要度：高 緊急度：中	重要度： 緊急度：	重要度：高 緊急度：高
住民・事業者の 役割		町 通信事業者		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITへの対応は重要です。町民サービスとして最低限必要な範囲はどこまでと考えますか。</li> <li>・IT弱者といわれる人たちが、自然にITに触れられる機会づくりはどのような方法が考えられますか。(勉強会も必要ですが、単に教室を開催しても参加する町民は少ないのではないですか?)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供の仕組みは、第1回、第2回のテーマとの関連で検討することとしますが、「若い人が潤滑油のように情報を上手に利用できるような仕組みづくりを行う」とありますが、どのような方法が考えられますか。</li> </ul>	

#### IV 住環境の整備

##### 【課題：1. 住環境の整備】

##### 【課題：2. 医療環境の整備】

個別テーマ	⑤街の環境美化		①専門医療機関への通院等の支援	
内容	道路、街灯等の整備による安心・安全の確保と街の環境美化を進める。		産婦人科、小児科等の専門医療機関への通院等の仕組みづくりと、緊急対応できる医療体制づくり（妊産婦の交通手段の確保等）。 また、消防署と連動した夜間等の緊急輸送手段等の構築を検討する。	
グループ	1. 2グループ		3. 4グループ	
取り組み (案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの削減（今以上の周知徹底）</li> <li>・街頭のLED化＋災害時に幹線と公園（避難所）だけ光る等</li> <li>・高規格道路を早く作る。（要望する）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道に桜街道等の目立つような景観対策を行う。</li> <li>・マイナスと思っているなら、あえてマイナスの状況を売り込む。 【古き良き時代の風景で売り込む】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間等緊急時に医療タクシー等を利用して病院にかかった場合に交通費を町が負担する。 医療バスの運営（クーポン券等）</li> <li>・町と病院の連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格道路の早期整備を要望する。</li> </ul>
重要度 緊急度	重要度： 緊急度：	重要度：中 緊急度：中	重要度：高 緊急度：高	重要度：高 緊急度：高
住民・事業者の 役割				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道に沿っての景観対策を含めて、現在、街の環境美化活動（花壇の整備等）を行っているグループ人たちの活動を評価し、町民の日常的な活動にしていくための視点からの検討をしてみてもは？</li> <li>・古き良き風景を大切にするための具体的な提案はありませんか？</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格道路の早期整備を重要課題として継続して要望を行っていくことは必要ですが、整備までには時間がかかります。一方で、町の少子化対策は待ったなしです。松前町の町立病院、木古内町の国保病院の重要性を十分認識した上で、妊産婦や幼児・子ども等の子育て世帯等への安心確保のための、早期に実現できる緊急時に利用する医療タクシー等の仕組みについて検討してください。</li> </ul>	



V 地域の資源を活かした機能分担

【課題：1. 福島地区の活性化】

【課題：2. 吉岡地区の活性化】

個別テーマ	① 商業・公共・公益ゾーンとして市街地の面的整備		① 元気な福島町を支える人づくりの環境整備	
内 容	<p>町の拠点として福島地区に集積された地域資源（商業、公共施設）をコアに、新たに若者や女性によるコミュニティビジネスの起業による「雇用・就労・交流の場」づくりに取り組み、多様な消費生活関連サービスの提供や自由時間活動の場として、横綱街道を軸にした町のブランドづくりと個性ある面的整備（モール化）を進める。</p> <p>◎ホスピタリティを理念とした商店街づくりを進め横綱ロードの活性化を図る。</p> <p>◎既存商店等と遊休資源活用のコラボレーションによる「公設・民営市場」の開設による消費生活関連サービス向上に向けて、若手起業家による3坪ショップ（カフェ、B級グルメ、惣菜店等）と特産品販売、安らぎ・交流スペース等の整備等の機能の再集積を図る。</p>		<p>学校等の遊休地（施設）、吉岡温泉等の公共施設を活用し、健康・福祉・教育・文化をコアにして、子育てや女性を中心に、町民主体のサービス拠点（業）とした環境整備を進める。</p>	
グループ	1. 2グループ	3. 4グループ	1. 2グループ	3. 4グループ
取り組み（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コワーキングスペースを作る（フリースペースに色々な人が集まる）</li> <li>・商店街で100円位置を毎週土曜に行う。歩行者天国でフリーマーケット（人を呼ぶ）</li> <li>・高校生が定期的に使える店（プレハブ程度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショップ経営のPRを行う。（どのくらいので起業できるとかパンフレット等を作成する。）</li> <li>・中心市街地が空洞化しているため、中心市街地活性化計画を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉の活用（飲食の施設）</li> <li>・吉岡温泉、吉岡小学校周辺を拠点として整備を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉を有効活用する。</li> <li>例えば旧吉岡小学校跡地に宿泊施設を併設するなど温泉と連動した活用方法。また、水産と結びつきが強い地域なので、生鮮魚介や地域の食材を使用した食事のできる施設も併設する。</li> </ul>
重要度 緊急度	重要度： 緊急度：	重要度：高 緊急度：高	重要度： 緊急度：	重要度：中 緊急度：中
住民・事業者の役割		町内・外 住民 商工業者		町
備 考	<p>・高校生や若者、子育て世帯の女性が連携して運営できる施設のあり方等について検討してみてください</p> <p>・中心市街地（商業、公共・公益、交流ゾーン）としての魅力の向上に向けて、優先順位も検討してください。</p>		<p>・学び・文化創造ゾーンとして、旧学校施設、温泉活用による女性中心の「元気な福島町を支える、人づくり」の拠点として、町民に親しまれる健康・福祉・教育・文化を中心にした町民主体のサービス（業）の育成（子育て支援、生涯学習支援、地産地消と連動した町民の憩いの場づくり）について検討できませんか。</p>	